

“誰も見たことのない ベルリンフィル”

ラトル指揮 ベルリンフィル 3D “音楽の旅” ～マーラー「巨人」／ラフマニノフ「交響的舞曲」～

国際共同制作の高品質3D映像作品の日本国内での展開（映画館上映）について

ソニーPCL 株式会社（東京都品川区 代表取締役社長 毛塚善文 以下 ソニーPCL）が運営する ODS(Other Digital Stuff)配給事業「Livespire（ライブスパイア）」は、2010年11月にシンガポールのエスプラナードホールで収録された、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団（サイモン・ラトル指揮）の3D映像について、今年10月頃を目途に、映画館および上映設備を有する劇場・ホール等への配給上映を行うことに致しました。

この作品は、株式会社NHKメディアテクノロジー（東京都渋谷区 代表取締役社長 西山博一 以下 NHK-MT）が、ドイツのユーロアーツ・ミュージック・インターナショナル社などと共同制作したもので、世界最高峰のオーケストラを最新の3D技術を駆使して撮影した歴史に残る作品です。収録された楽曲は、日本でも人気の高いマーラーの交響曲第1番「巨人」と、ラフマニノフの「交響的舞曲」の2曲。撮影に際しては、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団の全面的な協力のもと、クレーンやレールなどの映画用機材も利用し、演奏者に肉薄したダイナミックな3D映像を構成することに成功しています。音声についても、元ベルリンフィル専属音楽プロデューサーであるクリストファーオルダー氏が担当し、5.1ch サラウンドによりダイナミックな音響空間を再現しています。

ソニーPCLでは、NHK-MTより本作品の日本国内上映のライセンスを受け、本作品を「Livespire（ライブスパイア）」の配給作品として全国の映画館に配給するとともに、シネマプロジェクター等の上映設備を有する劇場・ホール等に対しても3D上映会の実施提案を行ってまいります。

なお、本作品の上映日程については、詳細が決まり次第お伝えします。

タイトル：「ラトル指揮 ベルリンフィル 3D “音楽の旅”

～マーラー「巨人」／ラフマニノフ「交響的舞曲」～（仮邦題）

(Berliner Philharmoniker Musical Journey in 3D) (本編収録時間：105分)

収録日時：2010年11月22日～24日
収録場所：エスプラナード劇場（シンガポール）

曲 目： マーラー「交響曲第1番『巨人』」
ラフマニノフ「交響的舞曲」
演 奏： ベルリンフィルハーモニー管弦楽団
（コンサートマスター：榎本大進）
指 揮： サイモン・ラトル



右：イメージ写真
※PR素材は別途配布

【共同制作】NHKメディアテクノロジー／ユーロアーツ・ミュージック・インターナショナル
(EuroArts Music International)／コンテクスト・テレビ (Context TV)／シャクス
フィン・プロダクションズ (Shaksfin Productions)／NHK／BBC
【協賛】ベルリン・ブランデンブルク州メディア開発庁／シンガポール観光庁

◆本作品のみどころ／訴求ポイント

○ 3D 映像の、想像を超えた臨場感！

世界最高峰のオーケストラ、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団が挑む、世界で初めての 3D 撮影。その映像の質感と迫力は、体験したことのない興奮に観客を誘います。

○ まるで、オーケストラの一員！

ステージの上から、横から、後ろから、演奏者の間にまで迫ったカメラアングル。ベルリンフィルの全面協力のもとで撮影可能となった貴重な映像。

○ 音楽の「動き」が、手に取るように！

たゆたうような、そして激しい音楽の流れ。世界最高のマエストロが織り成す、そのダイナミックな「動き」を、3D の奥行きとともに全身で感じられます。

○ 指揮者と演奏者の、緊迫した呼吸さえも！

無言のコミュニケーションから紡ぎだされる、絶妙のアンサンブル。誰もが緊張する一瞬の静寂。その透明感さえもがスクリーンに再現されます。

○ マーラー。ラフマニノフ。夢の 105 分！

ひと時も飽きることのない 105 分。名曲が奏でられる瞬間は、これほどまでに美しかったのか。目と耳と体で感じる、夢のマーラー、ラフマニノフ。

○ 世界最高のオーケストラ！

サー・サイモン・ラトル指揮。ベルリンフィルのプロフェッショナルリズムに触れ、陶醉するとき、壇上に分け入る 3D カメラは、まさに「神の目」となります。

空前絶後の 3D オーケストラ！

いまだかつて、誰も経験したことのない、
世界最高の体験を！